

令和8年4月16日
北陸信越運輸局観光部

「金沢市における観光データ分析実証事業」報告書を公表しました ～観光データを“使える形”に。金沢発・全国展開に向けた成果～

国土交通省北陸信越運輸局は、金沢市および(一社)金沢市観光協会と連携し、「金沢市における観光データ分析システムに基づく観光地経営の高度化及び効率化に向けた実証事業」を実施しました。

本事業では、観光地経営の高度化に向けて、宿泊データ等を活用した観光データ分析システムの導入を支援するとともに、他地域でも導入可能なモデルの整理に取り組みました。

北陸信越運輸局では、本調査成果を活用し、各地域における観光データ活用の取組を後押ししてまいります。

【調査結果のポイント(抜粋)】

■ 観光データシステム(K-TA)への参加拡大・公開

- ・観光事業者向けの説明や意見交換を通じ、観光データへの参加意義を周知しました。
- ・参画施設の増加により、地域全体の観光動向を把握できるデータ基盤の有効性が向上しました。
- ・結果として、K-TAの一般公開に繋がりました。(<https://www.k-ta.jp/>)

■ 他地域展開に向けた導入マニュアルを作成

- ・金沢市の取組や全国事例を整理し、観光データシステム導入の考え方や進め方を手引書として体系化し、他地域での検討にお使いいただけるようにしました。

1. 事業概要

事業名：令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)

「金沢市における観光データ分析システムに基づく観光地経営の高度化及び効率化に向けた実証事業」

事業実施者：国土交通省北陸信越運輸局 連携先：金沢市、(一社)金沢市観光協会

調査期間：令和7年10月～令和8年3月

2. 調査結果

- ・調査結果概要は別紙のとおり
- ・調査報告書(全体版)は、以下のURLよりご覧いただけます。

URL：<https://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/sightseeing/jissyojigyo.html>

<問い合わせ先>

北陸信越運輸局観光部観光地域振興課 森田 木下

TEL：025-285-9181

MAIL：hrt-hrt-kankou@gxb.mlit.go.jp

※北陸信越運輸局観光部は観光庁の地方組織です。

～観光データを“使える形”に。金沢発・全国展開に向けた成果～

■調査名称 金沢市における観光データ分析システムに基づく観光地経営の高度化及び効率化に向けた実証事業

■調査実施主体 北陸信越運輸局観光部

■調査期間 令和8年1月下旬～3月初旬

■調査概要

- ・全国で実践されている観光データ分析システムの活用状況、地域ごとのシステムの特徴等を調査。
- ・観光データ分析システムの必要性及び有効性について理解促進を図るシンポジウム開催。
- ・システムの活用実態や課題把握の為のヒアリング調査。
- ・類似課題を抱える自治体やDMOに対する横展開を想定した基礎資料（手引き）の作成。

■シンポジウム開催

金沢市内の宿泊施設等から46名が参加

参加者アンケート結果より抜粋

- ・自施設の販売戦略への活用や市場動向の把握を主なメリットとして期待。
- ・費用負担への懸念に加え、データ提供の手間や情報管理が不安。



■ヒアリング調査

- ・金沢観光データ分析システムに参画している32施設へ活用状況のヒアリングを実施。
- ・未参画施設42施設へシステム概要の説明と参画障壁となる課題のヒアリングを実施。
- ・ヒアリングを契機に3施設が新規参画



■観光データ分析システムの事例5件（石川県金沢市、京都府京都市、福井県、岐阜県下呂市（下呂温泉）、兵庫県豊岡市（城崎温泉）の取組）を調査し導入マニュアルを作成した。

地域	システムの特徴	運用・体制の特徴	強み	課題・留意点
京都市	日次の宿泊データ（稼働率・ADR等）を収集し、曜日別・施設規模別など詳細な分析が可能	観光協会が主体となり少人数で運用、手入力やExcel提出でデータ収集	分析の粒度が高く、政策立案や議会説明など公的活用に強み	入力負担が残るほか、自動化・効率化の余地がある
福井県	宿泊・人流・アンケート等の多様なデータを統合した観光DX基盤を構築	コンソーシアム形式で運用し、RPAやPMS連携によりデータを自動収集	データの網羅性が高く、広域的・戦略的なマーケティング分析が可能	関係者が多く、運用調整や合意形成に一定の負担
城崎温泉	宿泊データを活用し、需要予測や観光動向を迅速に分析	DMO主体でAPIやRPAを活用し、データを自動連携	リアルタイム性が高く、経営判断や施策判断に直結	有償提供のため参画拡大に制約が生じる可能性
下呂温泉	宿泊人数・年代・交通手段・販売チャネルなど詳細な属性データを収集・分析	DMO主体でPMS連携によりデータを一元管理し効率的に収集	データ精度が高く、経営分析や市場分析に幅広く活用可能	システム整備や運用に一定のコスト・体制が必要
金沢市	宿泊データに加え観光施設入込数など外部データを統合した分析（K-TA）	行政と観光協会が連携し運用	政策立案と事業者支援の両面で活用可能な基盤	参画施設の拡大による精度向上、入力負担の軽減、分析機能の高度化